

令和 8 年度校内コンプライアンス研修計画 (銚田市立大洋中学校)

回	実施時期	研修内容	ねらい	対象	担当者
①	4/1(水)	宣誓書作成・サービスの基本	飲酒運転、体罰、ハラスメント、個人情報、会計処理の5項目遵守を誓約する	全職員	校長
②	4/20(月)	学校教育指導方針	学校運営の方向性と服務規律の共有	全職員	教頭
③	4/27(月)	危機管理マニュアル活用研修	マニュアルの見直しと実践的対応力の向上を統合して実施	全職員	教頭
④	5/11(月)	個人情報漏洩・紛失の未然防止	テスト等の管理、データの取り扱い徹底	全職員	教頭
⑤	5/18(月)	体罰防止事例検討	アンガーマネージメント研修による感情制御の習得	全職員	生徒指導
⑥	6/15(月)	交通事故・飲酒運転根絶	夏季休業を控えた事故防止意識の高揚	全職員	教頭
⑦	7/6(月)	SNSの私的利用ガイドライン	社会的影響の理解と発信リスクの再点検	全職員	情報担当
⑧	7/16(木)	わいせつ行為対策事例検討	倫理観の再構築と境界線の確認	全職員	2 学年
⑨	7/23(木)	ヒヤリハット事例検討	事故を未然に防ぐリスク感性の向上	全職員	1 学年
⑩	8/17(月)	体罰・不適切な指導の根絶	夏季休業中の振り返りと指導法の再点検	全職員	3 学年
⑪	9/7(月)	盗撮等の根絶に向けた取組	強い規範意識の醸成と職場環境の相互チェック	全職員	教頭
⑫	9/21(月)	会計マニュアル活用研修	公金等の適正処理と事務ミスの根絶	全職員	副主査
⑬	10/26(月)	メンタルヘルスと働き方改革	業務精査による余力の創出と不祥事防止	全職員	校長
⑭	11/9(月)	セクハラ・パワハラ等の防止	良好な人間関係の構築とハラスメント理解	全職員	教頭
⑮	11/24(火)	危機管理マニュアル活用(2)	状況に応じた事故防止策の再確認	全職員	教務
⑯	12/7(月)	多様性(LGBTQ+等)への理解	児童生徒への具体的配慮と人権教育の推進	全職員	1 学年
⑰	1/19(月)	データ漏洩防止と SNS 遵守	デジタル管理の徹底とガイドラインの再確認	全職員	情報担当
⑱	2/16(月)	服務研修のまとめ	年間の振り返りと次年度への課題整理	全職員	校長

○. 主要研修プログラムの詳細

サービスの在り方と「ONE IBARAKI」の深化

「教育公務員としてのサービスの在り方」を全ての教育活動の基盤とし、茨城県が推進する「ONE IBARAKI」の精神を堅持する。本年度は特に「ブロック別研修」の手法を強化し、各教職員が当事者意識を持って不祥事根絶に取り組む組織文化を醸成する。

体罰・暴言防止(アンガーマネジメント)

「アンガーマネジメント」の理論に基づき、自身の怒りのトリガーを分析する。学期末に実施する「体罰・暴言」チェックシートを事前配布し、自己の指導傾向を振り返るグループワークを実施する。

情報セキュリティと SNS ガイドラインの徹底

テスト問題や成績データの管理手順を再点検する。併せて、私的 SNS 利用ガイドラインに基づき、匿名投稿であっても特定されるリスクや、教職員としての社会的影響について事例検討を行う。

危機管理体制の統合的強化

既存マニュアルの改訂箇所を確認し、不審者対応やアレルギー事故等のシミュレーションを行う。「ヒヤリハット」事例をブロック別研修で共有し、事故の芽を摘むための日常的な点検項目を決定する。

○ 研修の評価と振り返り

チェックシートによる定期的自己点検 学期末ごとに「体罰・暴言」チェックシートを用いた自己評価を継続し、管理職との面談資料として活用する。

研修事後アンケートと行動変容の確認 各研修後にアンケートを実施し、内容の理解度だけでなく「明日から具体的に何を変わるか」を言語化させる。

日常的なメンタルヘルスチェックと声掛け 多忙期(10月～11月)を中心に、管理職や学年主任が「不祥事防止の土壌」である職員の健康状態を把握するため、日常的な声掛けをシステム化する。